

廃校の思い出に一日海上保安官として海難防止

～ 海の事故ゼロキャンペーンを兼ねて体験航海 ～

7月14日、宇和島海上保安部は、小学生7名を一日海上保安官に任命し、海の事故ゼロキャンペーン活動を実施しました。

愛媛県南部にある愛南町立久良小学校は、久良漁港を見下ろす高台におかれている全校児童7名の小学校ですが、少子化のあおりを受けて、今年度をもってその歴史に幕を降ろすこととなりました。地元の漁業者のほとんどがこの小学校の卒業生であり長年地域で愛されて大切にされてきたことから、地元の久良漁協から子供たちの最後の思い出に巡視艇に乗船させてもらえないかとの相談を受けて、今回、児童らを一日海上保安官として任命して、海のゼロキャンペーン活動を兼ねて体験航海に招待しました。

○一日海上保安官任命式

当日は、まず久良小学校の体育館で全児童7名に対して一日海上保安官の任命式を行いました。児童を代表として6年生の松平 一伽（まつひら いちか）さんが宇和島海上保安部長から任命書を受け取り、「一日海上保安官」のタスキをかけてもらいました。





○ 海の事故ゼロキャンペーン

任命式終了後、児童7名全員は一日海上保安官の初仕事として、地元の久良漁協や漁業者などを訪問し、「海の事故ゼロキャンペーン」ポスターなどを手渡すとともに、大きな声をあわせて事故の防止を呼びかけました。





○ 海上パトロール

それから一日海上保安官の児童 7 名は、随同行の久良小学校長ほか教員 2 名、報道関係者 2 名とともに巡視艇たかつきに乗船して、海上パトロールに繰り出しました。久良漁港からしばらく沖合に出たところで、広島航空基地のヘリコプター（MH963 せとわし 2）と会合すると、子供たちは一番大きな歓声を上げて、巡視艇の周りを低空で旋回しながら飛行する大迫力のヘリコプターに向かって甲板上をぐるぐる走り回りながら手を振り続けました。

海上パトロールに参加していた引率の先生 1 名は途中から船酔いでダウンしてしまいましたが、さすがの久良の子供たちは下船するまで元気一杯で、代々受け継がれている潜在能力の高さを見せてくれました。



今回の企画については、地域の方々にもたいへん喜んでいただき、昨年締結した地元愛南町との包括協定に基づく協力事業の一環としてよい取り組みとなったと思います。

また地元の新聞やテレビにも大きく取り上げられたことで、こちらの「海の事故ゼロキャンペーン」についても広く周知することができたものと思います。

最後に、当日は、雲も低く気象状況も悪いなか、はるばる四国の南端まで山々を越えて飛んで来ていただきました広島航空基地MH963クルーの皆様に対して、この場をお借りしてお礼申し上げます。